タブレット PC を使って認知機能を高めよう

中学校
支援学級

高石市立高石中学校

教科	自立活動	単元名	言葉の学習

本単元で育む主な情報活用能力

E－STEP３，K－STEP３

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

本時のねらい

・ICT を活用したトレーニングにより、「見る力」「集中力」の認知機能と授業内容の理解を図る。

本時における１人１台端末の活用方法とそのねらい

・認知機能強化トレーニングソフト「コグトレオンライン」を活用し、各自が自分の現状に沿った課題を選択し、個人のレベルにあったプログラムに取り組むことで、興味をもって自主的に力を伸ばすことができ、自己肯定感の向上にもつながる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・認知機能強化ソフト「コグトレオンライン」　　・教育用ゲームプラットフォーム「カフート」

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 （２０分）	・「見る力」と「集中力」の向上を図るために、「見つける」「数える」分野のプログラムに取り組む。 【写真１】	・生徒自身が興味を持つ分野のプログラムからスタートした。 ・得意分野から始め、徐々に不得意な分野や、伸ばしたい分野に取り組むように工夫したことにより、生徒が興味をもって自主的に取り組むことができた。
展開 （２５分）	・本時のめあて「英単語やものの名前を確認しよう」や、学習課題「同じ意味の英語と日本語を対応させよう」について知る。 ・日本語と英語の単語練習やクロスワード、日本語の意味と英単語を線でつなぐ作業課題、入試問題から抜粋されたものや、カフートなどあらゆる方法で、言葉の学習を行う。 【写真２】	・カフートによって、英単語を覚える際に、正答と誤答がすぐにわかるので、間違えた問題をすぐに復習することができた。 ・カフートでくりかえし問題を解き、学習した英単語を確認することで、定着しているかどうかの把握がスムーズにできた。
まとめ （５分）	・達成状況をまとめ、授業の振り返りを行う。 ・授業内容を自分の言葉で説明する。 【写真３】	・コグトレオンラインは個々のレベルに合わせて出題されるため、「わかる」「できる」という気持ちがうまれ、自己肯定感の向上にもつながる学習となった。

１人１台端末を活用した活動の様子

【写真１】コグトレオンラインで、自分で選んだプログラムに取り組んでいる様子

【写真２】コグトレオンラインを使用後、作業課題へスムーズに移行する様子

【写真３】本時の授業を振り返り、自分の言葉で内容を説明している様子

児童生徒の反応や変容

・プリント課題での認知機能強化トレーニングも行っているが、１人１台端末を使ったトレーニングの方が生徒が興味をもって取り組みやすく、集中して次々とプログラムを進めることができた。また、自分で課題を選択することができるため、自主的に取り組む姿勢が見られた。
・授業の始めに認知機能強化トレーニングを導入することにより、その後の授業の展開でも集中が続きやすくなっていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・認知機能強化の意味と目的を、生徒と毎回確認したうえで実施している。どの能力の向上をめざしているかを生徒に意識させることで、より効果的な取組みとなり、継続して行うことで、学力や生きる力の向上が期待できる。
・プリント課題と１人１台端末を併用することで、活動がパターン化せず、取り組む上での良い刺激となっている。